

支援企業の
視点

化学メーカーのノウハウを活かせば 現場のニーズに合わせた塗装が可能

安全性と景観を重視した舗装を望む自治体は多いのです。

稲生 駅前周辺や商店街・公園など、賑わいが生まれるエリアにおいて希望する自治体は多いと感じています。特にデザイン性を重視して、インターロッキングブロックで舗装する自治体は多いようです。インターロッキングブロック

自体はすばらしい舗装ですが、経年劣化によって凸凹が発生したり、ブロックが割れたりした際のメンテナンスに苦勞しているケースも。そこで当社では、景観を損なわずにコストを抑えられる、カラー舗装を自治体におすすめしています。

トはなんでしょ。

泉田 安全性担保のため、「耐久性」「追従性」「防汚性」に優れたカラー舗装を選ぶべきです。たとえば当社の「リリーフペイント」は、そうした機能を有しているほか、「速乾性」にも優れ、交通開放も早く行えます。特徴は、これらの機能を水性の舗装材で実現している点。水性は油性より耐久性や速乾性に弱いとされていたのですが、当社では「シリコーンアクリル樹脂系」の化学結合により、その弱点を克服。現場から「油性は引火しやすく、舗装時にシンナーの匂いがするため苦情がくる」という悩みに応えるために開発したのです。こうした支援ができるのも、当社が単なる舗装材メーカーではなく、原材料の生かだからだと自負しています。

塗装は33色と種類が豊富なので、厚さ0.55mmの型紙の上から吹き付け塗装を行う「型紙工法」によって、インターロッキングブロックのような舗装を、段差のないバリフリーで行えます。環境にも人にも優しいものに配慮しており、最近ではさらなる景観アップのために型紙工法の採用が増えています。ぜひお問い合わせください。

カラー舗装材 に求められる機能



「シリコーンアクリル樹脂系舗装材」により
水性で上記の機能を実現

「型紙工法」を活用すれば
景観はさらにアップ



型紙(ステンシルペーパー)の上から吹付け塗装を行い、乾燥後にはかすだけの工法



「型紙工法」の事例。見た目はブロックだが凸凹がなく、メンテナンスもしやすい

「自治体に対する今後の支援方針を教えてください。」

稲生 カラー舗装で、まさに人が訪れるような賑わいを自治体に提供していきたいですね。当社のカラー

舗装材で実現している点。水性は油性より耐久性や速乾性に弱いとされていたのですが、当社では「シリコーンアクリル樹脂系」の化学結合により、その弱点を克服。現場から「油性は引火しやすく、舗装時にシンナーの匂いがするため苦情がくる」という悩みに応えるために開発したのです。こうした支援ができるのも、当社が単なる舗装材メーカーではなく、原材料の生かだからだと自負しています。



機能商品専務部
営業グループ 景観ユニット
リーダー
泉田 一雄
いずみだ かずお

昭和52年、東京生まれ。平成13年に日本大学を卒業後、舗装工事会社に入社。営業を担当する。平成20年、大成ファインケミカル株式会社に入社し、販売業務を担当する。平成20年から現職。



大成ファインケミカル
代表取締役社長
稲生 豊人
いのう とよひと

昭和37年、千葉県生まれ。昭和59年に日本大学を卒業後、大成化工株式会社に入社し、営業を担当する。平成16年、大成ファインケミカル株式会社が分社。平成20年、同社の代表取締役社長に就任。

問い合わせ先 ☎ 03-3691-3111(平日 8:30~17:30) ✉ info_kinou@taisai-fc.co.jp

PR

自治体通信 ONLINE
自治体通信ONLINEにてサイン内検索
大成ファインケミカル Vol.43

大成ファインケミカル株式会社 設立/平成16年1月(大成化工株式会社の設立は大正14年1月)
資本金/4,000万円 従業員数/82人 事業内容/アクリル樹脂や環境・景観商品などの企画・製造・販売
URL/https://www.taisai-fc.co.jp/